

別記様式その3（第7条関係）



令和8年3月31日

伊達市議会議長 菅野 喜明 様

会派名

日本共産党伊達市議団

代表者氏名

佐藤 清壽



令和7年度政務活動費収支報告について

伊達市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定に基づき、別紙のとおり
令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

別記様式その2（第7条関係）



令和7年度政務活動費収支報告書

会派名

日本共産党伊達市議団

代表者氏名

佐藤 清壽



1 収入

政務活動費 720,000円

利子 793円

2 支出

科 目	金 額	備 考
研修費	43,020 /	
調査研究費	13,228 /	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	0	
広報費	0	
広聴費	0	
事務諸費	30,384 /	
その他の経費	793 /	
合 計	87,425	

備考 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 収入支出差引残額

633,368円 /

[illegible]

支出総括表

費用区分「研修費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
3	R7.9.1	東日本旅客鉄道 (株)、他	第6回 地域×Tech東北セミナー 研修交通費	7,760	
4	R7.10.15	東日本旅客鉄道 (株)、他	第123回教育委員会対象セミナー GIGAスクール構 想第2期ICT機器の活用 研修交通費	7,760	
6	R7.10.21	(株)ぎょうせい東 北支社	伊達市議会議員研修会(議員のコンプ ライアンス研修)負担金	27,500	
	計			43,020	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号(第3条関係)

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	3		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和7年9月1日	支出額	7,760円
経費の内容	第6回 地域×Tech 東北 宮城県仙台市・仙台国際センター開催 往復交通費(新幹線、在来線) (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄(貼りきれないときは裏面へ)			

旅 費 計 算 書

期 間	令和7年8月28日 ～ 令和7年8月28日					
参加者氏名	近藤真一					
調査(研修)先及び住所	宮城県仙台市・仙台国際センター					
交通費	利用区間	自家用車(37円/km)				金額(円)
		km				
		km				
	利用区間	交通機関	運賃	人数	備考	金額(円)
	保原駅～福島駅	阿武隈急行	920	1 人	片道460円	920
	福島駅～仙台駅	JR東日本	6420	1 人	片道3,210円	6,420
	仙台駅～国際センター駅	仙台市交通局	420	1 人	片道210円	420
				人		0
				人		0
		計				
その他 経費	費 目	内 訳				金額(円)
	宿泊費①	円 ×	泊 ×	人		0
	宿泊費②	円 ×	泊 ×	人		0
						0
						0
	駐車料金					0
	車借上料(燃料代含む)					0
	高速料金					0
	手土産代					0
	参加費	円 ×		人		0
	資料代	円 ×		部		0
	その他					
	計					0
合 計						7,760
受領日	令和7年9月1日	受領者氏名	近藤真一			
備考						

※領収書貼付欄

(原本)

領 収 証

日本共産党 伊達市議団様

2025年 8月27日

金6,420円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

福島811 No.000022

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

(写)

領 収 証

日本共産党 伊達市議団様

2025年 8月27日

金6,420円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

福島811 No.000022

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

様式第2号(第3条関係)

支払証明書

	百 万	拾 万	万	千	百	拾	毫	
支払金額					9	2	0	円

上記の金額を支払ったことを証明します。

内訳	令和7年8月28日～8月28日 第6回 地域×Tech 東北 仙台市・ 仙台国際センター会場 セミナー参加のための交通費
理由	領収書未発効のため。
債権者 住所・氏名	福島県伊達市梁川町字五反田 100 番地 1 阿武隈急行株式会社

令和7年9月1日

会派(議員)名 日本共産党伊達市議団

代表者名 佐 藤 清 壽



支払証明書

	百 万	拾 万	万	千	百	拾	壱	
支払金額					4	2	0	円

上記の金額を支払ったことを証明します。

内訳	令和7年8月28日～8月28日 第6回 地域×Tech 東北 仙台市・ 仙台国際センター会場 セミナー参加のための交通費
理由	領収書未発効のため。
債権者 住所・氏名	宮城県仙台市青葉区木町通 1-4-15 仙台市交通局

令和7年9月1日

会派(議員)名 日本共産党伊達市議団

代表者名 佐 藤 清 壽



招待券

第6回

地域 × Tech 東北

< 地域テック東北 >

本紙1枚につき1名様のみ
無料でご入場いただけます。

第2回 こども × Tech 東北と同時開催!

※本招待券でこども × Tech も
ご覧いただけます。

会場 仙台国際センター

主催: (株) あわえ 協力: 七十七銀行

90社が出展! 地方創生・自治体業務支援のための最新技術展

本展には、地域づくりのための最新テクノロジーやサービスを提供する企業、約90社*が出展します。リアルな場だからこそ、最新技術に直接ふれながら、担当者同士の相談や打合せができます! さらに、地域づくりに関するセミナーも充実の内容です。ぜひご来場ください!

(*最終見通し、同時開催展含む)

気仙沼市長
(宮城県)



総務省
大臣官房審議官



宮城県
経済商工観光部長



が地域づくり
を語る!

セミナー情報は
裏面へ

◆自治体や企業の皆様、ぜひご来場ください!

< 来場者 >

・地方自治体 ・首長、議員 ・官公庁 ・地域づくりに関わる企業・団体 など

◆本展には地域づくりのための最新技術が展示されます

自治体 DX

住民サービスのデジタル化、庁内業務効率化・標準化などの、DX 推進に関するソリューション

GX・スマートシティ推進

脱炭素、エネルギー地産地消、都市機能の DX 化など、スマートシティ実現を支援する技術・サービス

自治体ネットワーク強靱化・セキュリティ

ネットワーク三層分離の見直しや、新たなセキュリティガイドラインへの対応を支援するソリューション

防災・安全

頻発する大型災害への対策や地域の安全・安心を支える製品・サービス

産業振興

農林水産業、商工業などの地場産業の活性化や地元企業を支援するテクノロジー・サービス

地域交通・MaaS

地域交通のスマート化や過疎・高齢化地域に向けた交通・物流に関するソリューション・サービス

観光 DX・インバウンド促進

観光客誘致や観光経済の活性化、インバウンドを促進する最新技術・サービス

ネイチャーポジティブ推進

生態系保全や生物多様性回復、環境回復に資する各種の取り組み事例・技術・サービス

PPP / PFI 事業支援

インフラ、施設の管理・運営をはじめとする、官民連携で地域経済の活性化を図る技術・サービス

自治体生成 AI 活用

生成 AI を活用した住民サービス向上や業務効率化を実現するソリューション

※ 出展企業一覧を裏面に記載

◆地域×Tech来場者の声 - 本展は相談・打ち合わせの場としてご活用頂いています -

N 町 情報企画課 (自治体)

20 社ほどブースを訪問し、仮想デスクトップやセキュリティ対策ツール、テレワークソリューションについて提案を受けた。様々な新しい情報を得ることができ、有意義なイベントだった

S 町 政策企画課 (自治体)

マイクロバスを借りて 10 名以上で参加した。商工観光、農林水産、DX、総務、教育の各課のメンバーが関連する出展社の打ち合わせを行った。次回もぜひ参加したい。

H 社 地域情報ビジネス部 (企業・地域 Sler)

支援している自治体に提案するための住民サービス、行政手続きの DX 化ソリューションを見て回った。新しい製品・技術を発見することができ大変よかった。

K 市 防災対策課 (自治体)

防災製品を探すために来場、5 社と打ち合わせを行った。比較的都市型の設備やソリューションが多く、少人数で運用出来るような地方仕様様にカスタムしてもらえそうな企業が見つかった。

K 市 総合政策課 (自治体)

デマンド交通サービスについて実証から実装に移行する際のシステム導入のために 10 社のブースに訪問、大変良い企業が見つかり、会期後に導入に向けて調整を進めている。

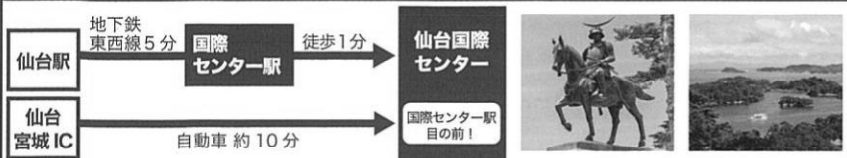
H 市 商工会議所 (民間団体)

地域の商店街の DX 推進やゼロカーボン推進に向けたソリューションを探しに行った。良い製品が見つかり、地域での導入を検討している。次回も来場する。



※上記写真は 2024 年 8 月に仙台で開催した「第5回 地域 × Tech 東北」の様子。

アクセス < 仙台駅から地下鉄で5分 >



※ 旅行者が増加しています。宿泊する場合には、早めのホテル予約をお勧めいたします。

下記の方は、ご来場の前にご登録ください

- ◆裏面記載のセミナー受講をご希望の方
 - ◆本紙をお持ちでない方で来場をご希望の方
- こちらからご登録ください ▶▶



- ※1. 本展の入場には、本紙か、来場登録のいずれかが必要です。
- ※2. こども × Tech のセミナー聴講登録も上記 QR コードから行えます。

お問合せ 地域 × Tech 事務局 (株式会社あわえ)
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 6-46 9F

TEL : 03-3266-5910 Email : info@localtech.jp

※1. 「地域 × Tech」は地域づくりに向けた相談、打ち合わせのためのイベントです。18 歳以下の方や学生の方に関しては入場をお断りする場合がありますので予めご了承ください。
※2. 本展では主催者が会場風景、各ブースの商談風景などの写真・動画を撮影いたします。本展および弊社サービスの案内を目的として各種制作物に掲載する場合がございますので予めご了承ください。

様式第1号(第3条関係)

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議員
		

整理番号	4		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和7年10月15日	支出額	7,760円
経費の内容	第123回教育委員会対象セミナー GIGA スクール構想第2期 ICT 機器の活用・整備 宮城県仙台市・フォレスト仙台開催 往復交通費(新幹線、在来線) (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄(貼りきれないときは裏面へ)			

旅 費 計 算 書

期 間		令和7年10月6日				
参加者氏名		近藤 眞一				
調査(研修)先及び住所		フォレスト仙台 (仙台市青葉区柏木1-2-45)				
交通費	利用区間	自家用車(37円/km)				金額(円)
		km				0
		km				0
	利用区間	交通機関	運賃	人数	備考	金額(円)
	保原駅⇄福島駅	阿武隈急行線	920	1 人	片道460円	920
	福島駅⇄仙台駅	新幹線:JR東日本	6,420	1 人	片道3,210円	6,420
	仙台駅⇄北四番丁駅	仙台地下鉄南北線	420	1 人	片道210円	420
				人		0
				人		0
	計					7,760
その他 経費	費 目	内 訳				金額(円)
	宿泊費①	円 ×	泊 ×	人		0
	宿泊費②	円 ×	泊 ×	人		0
						0
						0
	駐車料金					
	車借上料(燃料代含む)					
	高速料金					
	手土産代					
	参加費	円 ×	人			0
	資料代	円 ×	部			0
	その他					
計					0	
合 計					7,760	
受領日	令和7年10月15日	受領者氏名	近藤 眞一			
備考						

様式第2号(第3条関係)

支払証明書

	百 万	拾 万	万	千	百	拾	毫	
支払金額					9	2	0	円

上記の金額を支払ったことを証明します。

内訳	令和7年10月6日～10月6日 第123回教育委員会対象セミナー GIGA スクール構想第2期 ICT 機器の整備・活用セミナー参加のため の交通費
理由	領収書未発効のため。
債権者 住所・氏名	福島県伊達市梁川町字五反田 100 番地 1 阿武隈急行株式会社

令和7年10月15日

会派(議員)名 日本共産党伊達市議団

代表者名 佐 藤 清 壽



※領収書貼付欄

(原本)

領 収 証

日本共産党伊達市議団 様

2025年10月 5日

金6,420円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

福島812 No.000017

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

(写)

領 収 証

日本共産党伊達市議団 様

2025年10月 5日

金6,420円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

福島812 No.000017

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

様式第2号(第3条関係)

支払証明書

	百 万	拾 万	万	千	百	拾	壺	
支払金額					4	2	0	円

上記の金額を支払ったことを証明します。

内訳	令和7年10月6日～10月6日 第123回教育委員会対象セミナー GIGA スクール構想第2期 ICT 機器の整備・活用セミナー参加のため の交通費
理由	領収書未発効のため。
債権者 住所・氏名	宮城県仙台市青葉区木町通 1-4-15 仙台市交通局

令和7年10月15日

会派(議員)名 日本共産党伊達市議団

代表者名 佐藤 清 壽



ICT 機器の整備計画 / 校務の情報化の推進

GIGA スクール構想第2期 ICT 機器の整備・活用

日 時 令和 7 年 10 月 6 日 (月) 10 時～16 時 45 分
 後 援 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会
 対 象 全国都道府県・市町村教育委員会の情報教育担当者、施設担当者、市議会議員、ほか
 会 場 フォレスト仙台 第 1・第 2 フォレストホール (仙台市青葉区柏木 1-2-45)
 仙台駅から地下鉄南北線「北四番丁駅」下車 徒歩 7 分

スケジュール(予定)

10 時 00 分～ 受付開始
 10 時 25 分 主催者挨拶
 10 時 30 分～11 時 15 分 『教育DXロードマップ』～“誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会”に向けた青写真と工程表～
 デジタル庁国民向けサービスグループ企画官 (教育班担当)
 久芳 全晴氏
 11 時 15 分～11 時 20 分 休憩
 11 時 20 分～12 時 00 分 「教育情報セキュリティポリシーの最新指針とネットワーク統合の留意点」
 合同会社 KU コンサルティング 代表 高橋 邦夫氏
 (文部科学省学校 DX 戦略アドバイザー、ガイドライン改訂検討会座長)
 12 時 00 分～13 時 00 分 昼食・展示
 13 時 00 分～13 時 40 分 「ゼロトラストがわからない
 ～初任者でも大丈夫 ICT 知識の基礎づくり～」
 埼玉県新座市教育委員会 教育支援課 主任 森 智寛氏
 13 時 40 分～14 時 30 分 企業提案 教育用 ICT 機器・ソフト、次世代校務環境などの提案
 電子黒板、タブレットなど出展各社のプレゼンテーションと展示
 14 時 30 分～15 時 05 分 展示・休憩
 15 時 05 分～15 時 35 分 「授業DXで子供が主語になる指導へ
 ～校内全教職員の授業観を転換する試みとその成果～」
 岩沼市立岩沼小学校 主幹教諭 北澤 直樹氏
 15 時 35 分～16 時 05 分 「生成 AI の効果的な教育・校務利用」
 丸森町立丸森中学校 教頭 伊藤 将人氏
 16 時 05 分～16 時 10 分 休憩
 16 時 10 分～16 時 40 分 「ICT を活用した教科横断型授業の取組」
 宮城県仙台第三高等学校 主幹教諭 菊地 俊介氏

展示コーナー (10 時～16 時 45 分) 電子黒板、校務システム、情報セキュリティ、
 授業支援ソフトなどの展示 詳細・申込み→

主 催 教育家庭新聞社

定 員 80 名 (途中入場も可能です) 参加費 無料

■参加申込み ①ブラウザで <https://www.kknews.co.jp/seminar> にアクセス、又は②FAX で下記の
 事項を記入しお申し込みください。受け付け後「参加証」をお送り致します。

教育委員会セミナー申し込み用紙 FAX: 03-3864-8245

お名前(議員名)			
市町村名	(県)	(市・町・村) 議会	
住所	〒		
電話番号		FAX	
Email			



様式第1号(第3条関係)

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	6		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和7年10月21日 /	支出額	27,500 円 /
経費の内容	令和7年9月29日開催・伊達市議会議員研修会負担金(議員のコンプライアンス研修)。 13,750 円×2名分 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄(貼りきれないときは裏面へ)			

※領収書貼付欄

請求書

令和7年10月10日

日本共産党伊達市議団
代表 佐藤 清壽 様

幹事

無会派 菅野 喜明



下記のとおりご請求申し上げます。

請求額 27,500 円

内訳 令和7年9月29日に開催された伊達市議会議員研修会の負担金として
(一人当たり 13,750 円×2名分)

請 求 書

令和 年 月 日

登録番号：T1010001100425

伊達市議会 議員 菅野喜明 様

下記のとおりご請求いたします。

ご請求金額 ￥275,000.- (税込)

件名又は業務名：令和7年度伊達市議会議員研修会

取引日：令和7年9月2日～令和7年9月30日

お振込み期限：別途ご契約のとおり

請求No.：509166180

お振込の際は、お振込人名の前に請求No.(9桁)の入力をお願いします。

お得意様No.：70-7833323

宮城県仙台市青葉区一番町1丁目2番25号
仙台NSビル6階

株式会社きょうせい

東北支社

支社長 大川 和弘

<振込先指定銀行>
口座名義 株式会社 きょうせい

(担当部署) 東北支社
TEL 022-222-6552

品名	単価	数量	単位	金額
令和7年度伊達市議会議員研修会	250,000	1	式	250,000
	合 計	250,000	消 費 税	25,000
	10%対象	250,000	消 費 税	25,000

備考

契約年月日：令和7年9月2日

委託期間：契約年月日から令和7年9月30日まで

01250079721

033070-7833323509166180 請1-1(9)

※領収書貼付欄

領収書

令和7年 10月21日

日本共産党伊達市議団
代表 佐藤 清壽 様

幹事

無会派 菅野 喜明



領収額 27,500 円

但し 令和7年9月29日に開催された伊達市議会議員研修会の負担金として
上記正に領収いたしました。

支 出 総 括 表

費用区分「調査研究費」
(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
7	R7.11.13	プラザイン水沢(ホテル)、他	岩手県奥州市役所視察経費 (文教福祉常任委員会)	13,228	
	計			13,228	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号(第3条関係)

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	7		
費用区分 (○で囲む)	研修費 <u>調査研究費</u> 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和7年11月13日	支出額	13,228円
経費の内容	岩手県奥州市・奥州市役所視察経費(文教福祉常任委員会)参加者人数按 分5名参加中1名分 13,228円 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄(貼りきれないときは裏面へ)			

旅 費 計 算 書

期 間	令和 7年 11月 5日 ~ 令和 7年 11月 6日				
参加者氏名	近藤真一 小嶋寛己 佐藤実 柳田武志 渡邊尚人				
調査(研修)先及び住所	岩手県奥州市・奥州市役所				
交通費	利用区間	自家用車(37円/km)			金額(円)
	伊達市役所～奥州市役所	188 km			6,956
	奥州市役所～伊達市役所	188 km			6,956
	利用区間	交通機関	運賃	人数	備考
				人	
				人	
				人	
				人	
				人	
	計				13,912
その他 経費	費 目	内 訳			金額(円)
	宿泊費①	7980 円	×	1 泊 × 5 人	39,900
	宿泊費②	円	×	泊 × 人	0
					0
					0
	駐車料金				
	車借上料(燃料代含む)				
	高速料金	桑折JCT～奥州スマートIC 4,360円 奥州スマート～古川IC 1,990円 古川IC～桑折JCT 2,980円			9,330
	手土産代	領収書6,000円のうち政務活動費分3,000円			3,000
	参加費	円	×	人	0
	資料代	円	×	部	0
	その他				
	計				52,230
合 計					66,142
参加者按分		参加人数	5	会派の参加人数	1
受領日	令和 7年 11月 13日	受領者氏名	日本共産党伊達市議団 近藤真一		
備考	合計66,142円のうち、参加者一人当たり13,228.4円(≒13,228円)となる。一人当たり1円未満の端数合計2円は、幹事の渡邊尚人が負担する。領収書原本については、幹事の渡邊尚人に添付する。				

費用区分「事務諸費」
(1 / 1)

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号(第3条関係)

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議 員
		

整理番号	9		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 その他の経費		
支払年月日	令和8年3月2日	支出額	30,384 円
経費の内容	令和7年度タブレット通信料(令和7年4月～令和8年3月までの2名分)。✓ (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄(貼りきれないときは裏面へ)			

※領収書貼付欄

納入通知書兼領収書

〒		(000000)	
住所			
氏名	日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清 壽 様		
		調定番号	027605
年 度	令和07年度	納付書番号	021738
担当課	000100 議会事務局		
金 額	30,384 円		
摘 要	タブレット通信料 (令和7年度分 2人分)		
会 計	01	一般会計	
款	21	諸収入	
項	05	雑入	
目	06	雑入	
節	07	雑入	
細 節 (細々節)	007-01	雑入	
納 期 限	令和 年 月 日		
上記の金額を納期限までに 納入してください。			
福島県伊達市長 須田 博行			
上記の金額を領収しました。		領 収 日 付 印	
福島県伊達市会計管理者			
分任出納員			
取扱金融機関			

(納付者保管)

支 出 総 括 表

費用区分「その他の経費」

(1 / 1)

整理 番号	支払年月日	支払先	経費の内容	金 額	備考
10	R8.3.18	伊達市	利子返還金	793	
	計			793	

※ この総括表は「費用区分」ごとに作成し、合計額を収支報告書に転記する。

様式第1号(第3条関係)

会派(議員)名	日本共産党伊達市議団
---------	------------

支出票

会派代表 承認	経理担当者 承認	議員
		

整理番号	10		
費用区分 (○で囲む)	研修費 調査研究費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 広報費 広聴費 事務諸費 <u>その他の経費</u>		
支払年月日	令和8年3月18日	支出額	793 円
経費の内容	令和7年度政務活動費利子返還金。 (領収書に記載がある場合、記入不要)		
※ 領収書貼付欄(貼りきれないときは裏面へ)			

※領収書貼付欄

納入通知書兼領収書

〒	960-0605	(009105)	
住所	伊達市保原町字元町16番地		
氏名	日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清 壽 様		
	調定番号	028796	
年度	令和07年度	納付書番号	022786
担当課	000100 議会事務局		
金額	793 円		
摘要	令和7年度政務活動費利子返還金（日本共産党伊達市議団）		
会計	01	一般会計	
款	21	諸収入	
項	05	雑入	
目	06	雑入	
節	07	雑入	
細目 (細々節)	007-01	雑入	
納期限	令和 年 月 日		
上記の金額を納期限までに 納入してください。			
福島県伊達市長 須田 博行			
上記の金額を領収しました。		領収日付印	
福島県伊達市会計管理者			
分任出納員			
取扱金融機関			

(納付者保管)

※領収書貼付欄

返 納 通 知 書 兼 領 収 書

〒	960-0605	(009105)
住所	伊達市保原町字元町 16番地	
氏名	日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清 様 壽	
	伝票番号	000237 - 03
年 度	令和07年度	通知書番号 00000336
担当課	000100 議会事務局	
金 額	273,368 円	
摘 要	令和7年度政務活動費上半期分返還金	
会 計	01	一般会計
款	01	議会費
項	01	議会費
目	01	議会費
事 業	020564	政務活動費交付事業(自治体経営)
節	18	負担金、補助及び交付金
細 節 (細々節)	00201	政務活動費補助金
返 納 期 限	令和 年 月 日	
上記の金額を納期限までに 納入してください。		
福島県伊達市長 須田 博行		
		
上記の金額を領収しました。	領 収 日 付 印	
福島県伊達市会計管理者		
分任出納員		
取扱金融機関		

(納付者保管)

※領収書貼付欄

返納通知書兼領収書

〒	960-0605	(009105)
住所	伊達市保原町字元町 16 番地	
氏名	日本共産党伊達市議団 代表 佐藤清 壽 様	
	伝票番号	000237 - 04
年 度	令和07年度	通知書番号 00000337
担当課	000100 議会事務局	
金 額	360,000 円	
摘 要	令和7年度政務活動費下半期分返還金	
会 計	01	一般会計
款	01	議会費
項	01	議会費
目	01	議会費
事 業	020564	政務活動費交付事業(自治体経営)
節	18	負担金、補助及び交付金
細 節 (細々節)	00201	政務活動費補助金
返 納 期 限	令和 年 月 日	
上記の金額を納期限までに 納入してください。		
福島県伊達市長 須田 博行		
		
上記の金額を領収しました。	領 収 日 付 印	
福島県伊達市会計管理者		
分任出納員		
取扱金融機関		

(納付者保管)

議 長	事務局長	次 長	局 員
菅 野	野 口	渡 邊	中 野 齋 藤 八 島



令和 7 年 9 月 1 日

政務活動報告書

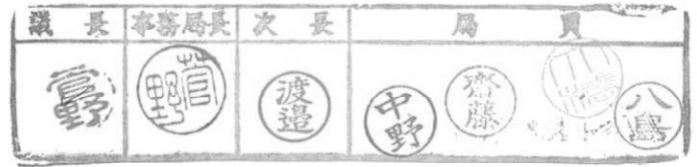
伊達市議会議長 菅野 喜明様

会 派 名 日本共産党 伊達市議団

代 表 者 佐藤 清壽



活動の種別	研修会・講演会 先進地・現地調査 要請・陳情 諸会議 その他()
期間	令和 7 年 8 月 28 日(木)～令和 7 年 8 月 28 日(木)
参加者名	近藤 眞一
訪問先又は主催者 (名刺添付可)	第 6 回 地域×Tech 東北
場所	宮城県仙台市 仙台国際センター
行程及び旅費明細 (別紙添付も可)	行程:(往復)阿武隈急行保原駅⇒JR 福島駅⇒JR 仙台駅⇒仙台地下鉄東西線仙台駅⇒国際センター駅 旅費:阿武隈急行(往復)920 円 東北新幹線(往復)6,420 円 仙台地下鉄(往復)420 円
活動の内容 及び成果等	会場内で開催のセミナー「S-10 地域交通・MaaS」及び、「S-11 校務支援・働き方改革」を受講。地域交通・MaaS は、岩手県奥州市が導入した移動診療車によるオンライン診療と地域医療サービス提供の先進事例を学ぶことができた。委員会の所管事務調査に参考となるもので、現地での委員会視察研修を検討したい。校務支援・働き方改革は、令和5年度の所管事務調査(ICT 教育推進のための施策等)で視察研修した新地町の最新の取り組みを学ぶことができた。伊達市の ICT 教育導入事例との比較等を通じ、委員会審査、質問等での提言にしていきたい。



様式第5号(第3条関係)

ファイルコード 03-01-01

収受

令和 7 年 10 月 15 日

政務活動報告書

伊達市議会議長 菅野 喜明様

会 派 名 日本共産党 伊達市議団

代 表 者 佐藤 清壽



活動の種別	研修会・講演会 先進地・現地調査 要請・陳情 諸会議 その他()
期間	令和 7 年 10 月 6 日(月)～令和 7 年 10 月 6 日(月)
参加者名	近藤 眞一
訪問先又は主催者 (名刺添付可)	第123回教育委員会対象セミナー 仙台開催 GIGA スクール構想第2期 ICT 機器の整備・活用
場所	宮城県仙台市 フォレスト仙台 第1・第2フォレストホール
行程及び旅費明細 (別紙添付も可)	行程:(往復)阿武隈急行保原駅⇒JR 福島駅⇒JR 仙台駅⇒仙台地下鉄南北線仙台駅⇒北四番丁駅 旅費:阿武隈急行(往復)920 円 東北新幹線(往復)6,420 円 仙台地下鉄(往復)420 円
活動の内容 及び成果等	別紙添付の各セミナーを受講した。国が進める GIGA スクール構想第2期の方向性や、教育情報セキュリティポリシーの考え方、教育現場での先進的な授業の取り組み・成果などを学ぶことができた。教員のみならず、学校現場全体(教育委員会)と部門横断的な取り組み(伊達市ではデジタル変革課など)が、今後、求められるのではないかと感じた。伊達市の ICT 教育導入事例との比較等を通じ、委員会審査、質問等での提言にしていきたい。

様式第5号(第3条関係)

令和 7 年 11 月 14 日

政務活動報告書

伊達市議会議員 菅野 喜明 様

会 派 名 日本共産党伊達市議団

代表者又は議員名 近藤 眞一



活動の種別	研修会・講演会 <u>先進地・現地調査</u> 要請・陳情 諸会議 その他()
期間	令和 7 年11月 5 日(水)～令和7年11月6日(木)
参加者名	近藤眞一 小嶋寛己 佐藤実 柳田武志 渡邊尚人
訪問先又は主催者 (名刺添付可)	岩手県奥州市 奥州市役所
場所	岩手県奥州市 奥州市役所
行程及び旅費明細 (別紙添付も可)	5日(水)伊達市役所→桑折 JCT→奥州スマート IC→ホテルプラザイン水沢 6日(木)ホテルプラザイン水沢→奥州市役所(視察)→奥州スマート IC→古川 IC→桑折 JCT→伊達市役所
活動の内容 及び成果等	場所・奥州市役所 オンライン診療車等について 視察参加者 伊達市議会文教福祉常任委員会5名 近藤眞一 小嶋寛己 佐藤実 柳田武志 渡邊尚人 奥州市5名 政策企画部未来羅針盤課長 菊地徳行 健康こども部健康増進課長 折笠正 同課保健師長兼奥州市こども家庭センター主幹 千葉芳枝



	同課課長補佐兼地域医療係長 同課地域医療係主事 伊達市3名 健康福祉部健幸づくり課長 同課主幹兼健幸企画係長 同課健幸企画係主査 ・参考になった点など 今回の視察地である奥州市は平成18年に水沢市、江刺市、胆沢町、前沢町、衣川村の5つの市町村が合併して現在の形となっており、人口は約104,000人で伊達市の約2倍、面積は約993㎢で伊達市の約3.7倍である。 奥州市が属する医療圏の人口10万対医師数は179.03人で、全国平均の250.83人を大きく下回っており、加えて人口密度等を考慮すれば奥州市では医療空白地域が発生する可能性があるため、オンライン診療を含めた地域医療モデルの構築は急務であったものと思われる。 奥州市には5つの市立医療施設と2つの県立病院が存在している。前述の通り、奥州市は5つの市町村が合併して現在に至るが、合併前の5つの市町村にはそれぞれ少なくとも1つの公的医療施設が存在していたようである。 上記の医療施設に対する一般会計からの繰出金は年間10億円を超えており、その財政負担や経営のあり方を問題視する声も聞かれることから市内の公的医療施設の統合が議論されたこともあったようだが、地域住民の猛反発により実現しなかったとのこと。 医療へのアクセスが困難となる事態が生じることに對して、市民も強い危機感を抱いていることがうかがえる。 奥州市では、限りある医療資源を効率的に活用し、地域全体をカバーするネットワーク型による地域医療体制の構築を目的として、「地域医療奥州市モデル」を提唱している。医療施設間における機能分化・相互連携やDXの推進、医師の働き方改革等を実施	及川香 渡辺嶺 菅野恭子 森久保勇 浅野康平
--	---	--

し、持続可能な病院経営を目指すことが重要であると記されている。

その地域医療奥州市モデルでは、訪問診療の充実に関連して、主にへき地医療の提供に用いる「モバイルクリニック」に関する記述が見られる。

「モバイルクリニック」は、看護師搭乗型オンライン診療車のことである。「モバイルクリニック」は遠隔診療専用の医療機器を搭載した専用車両を患者宅や集会施設等に配車し、オンラインにより医師の診察を受けられる体制を整備することで、通院困難な患者の医療受診機会の確保や医師の移動時間の削減が図られるようである。

車両内では看護師が診察補助を行い、デジタル聴診器や心電計等により患者の心音や心電図をオンラインで遠隔地にいる医師に伝達する方法(※Doctor to Patient with Nurse)で遠隔診療が実施されているようである。

奥州市の「モバイルクリニック」はその運用方法も含めて、山形県・酒田市病院機構のオンライン診療車とよく似ているが、やはり車両の規模等は別として、医療が希薄化した地域ではオンライン診療を実施できる車両の導入が効果的であると実感した。

「モバイルクリニック」は、現時点では奥州市内の衣川地区(旧衣川村)で先行実施しているとのことである。

衣川地区が選定された理由として、市内で特に高齢化が進行しており、さらに民間の医療施設が1つもないことが挙げられている。「モバイルクリニック」の運行時には、医療局衣川診療所の医師がオンライン診療を実施し、看護師・事務職員が車両に搭乗することになっている。

伊達市内で衣川地区に条件が近いのは霊山町や月舘町の一部地域だと思われるが、当該地域には運行の拠点となりそうな公的医療施設が見当たらない点は考慮すべきである。

「モバイルクリニック」を実施することで、「通院困難患者を送迎する家族等の負担軽減」「効率的な医療資源の活用」「検診受診率の向上」「主に高齢者等に対するデジタルツールの普及」「妊婦の

負担とリスクの軽減」といった効果を期待しているようである。特に「妊婦の負担とリスクの軽減」については、奥州市内に分娩取扱施設が存在せず、今後は妊婦検診も市内で受診できなくなる可能性があり、妊婦の長距離通院が常態化する恐れもあることから、その対策として「モバイルクリニック」の活用が期待される。伊達市も分娩取扱施設が存在せず、類似の課題を抱えているように感じる。

「モバイルクリニック」の導入時事業費(イニシャルコスト)は49,451,000 円。

その内訳は高額なものから、車両調達費が 17,214,076 円、運用支援費が 10,703,000 円、医療機器等調達費が 10,694,200 円となっており、他に病院事業会計負担金(人件費)や報償費・旅費等も計上されている。

山形県・酒田市病院機構が運用していたオンライン診療車と比較すれば高額であるが、導入している車両や搭載している医療機器等にも違いがあり一長一短であるため、地域の実情に沿ったものを検討する必要があると感じた。

報償費・旅費は事業に精通しているアドバイザー(外部人材)に支払われているが、やはり市の職員だけで事業内容を検討するより合理的であると感じる。

歳入としてデジタル田園都市国家構想交付金 21,863,000 円や過疎債(ソフト事業) 5,400,000 円が計上されており、概ね半額程度は財政負担が軽減している。

令和 6 年度事業費(単年度のランニングコスト)は 25,499,000 円。

その内訳は高額なものから、運用支援委託料が 16,682,000 円、病院事業会計負担金 8,789,000 円、手数料 280,000 円となっている。

歳入として過疎債(ソフト事業)4,900,000 円が計上されているが、やはり市にも相応の財政負担が生じていることが理解できる。